

防振架台仕様書



型式	N-SPH1900MSA		
機器	MATRIX Σ 中容量タイプ(200V)		
現場名			
系統名			
架台質量	76 kg		
防振材(コイルスプリング)			
NS181-150	6.18[kgf/mm]	6 個	
NS181-180	7.42[kgf/mm]	2 個	
上ベース	□75x75xt2.3	39.1 kg	
下ベース	□60x60xt2.3	29.4 kg	
耐震ストッパーボルト	M20	4 本	
耐震基準	水平 2.0 G, 鉛直 1.0 G		
表面処理	溶融亜鉛めっき HDZT56		

適用地域 標準・塩害地域

<付属品>

機器固定ボルト	溶融亜鉛めっき
M20x130L (平W, 角W, NTx2付)	4 組
架台連結ボルト	溶融亜鉛めっき
M16x190L (角Wx2, NTx2付)	2 組

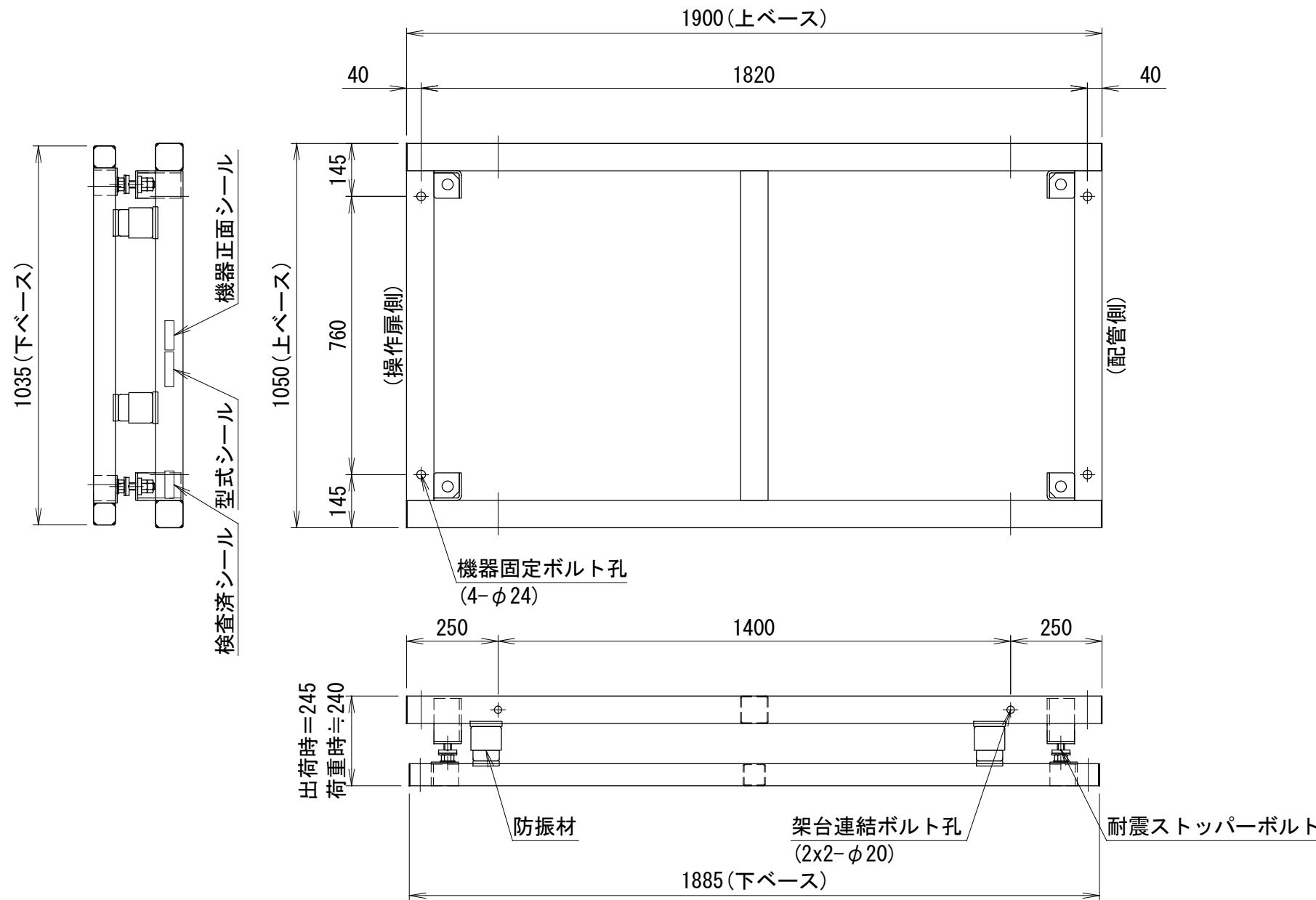
<備考>
防振架台連結時の機器間の離隔 50 mm

番号	日付	改訂記事
①	'23.05.08	型式追加
②	'23.08.29	アンカー孔径記載

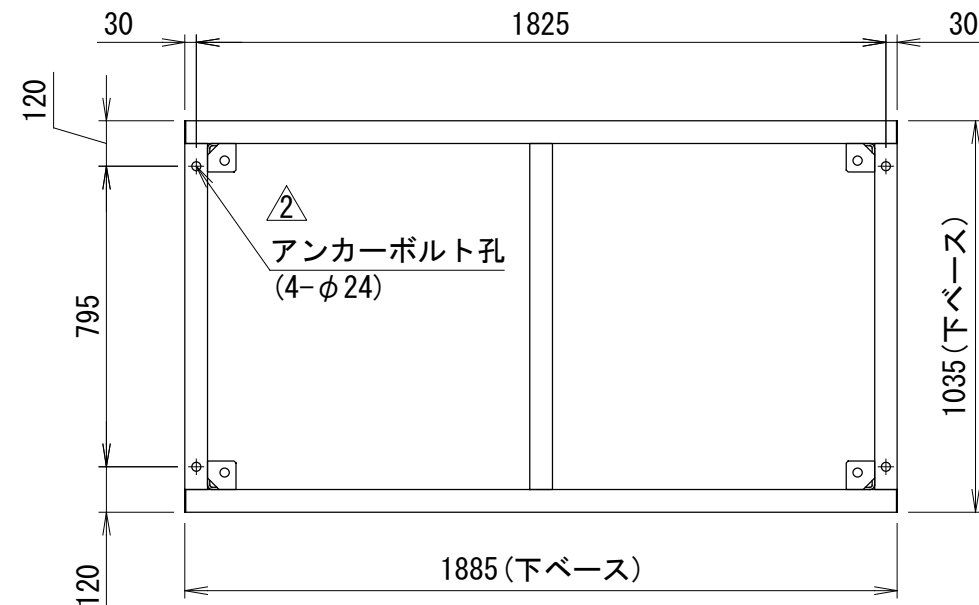
発行日	承認	設計	作図
'23.04.12	篠崎	内野	内野

ネミー株式会社

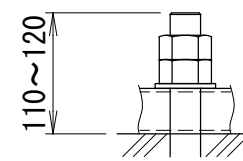
図番 1-HTP357



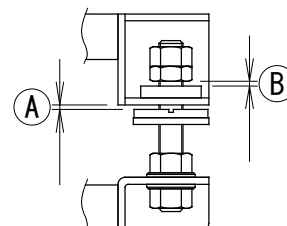
<アンカー寸法図> SCALE= 1:20



<アンカー>(参考)
接着系アンカー(M20)
有効埋込: 120mm以上



<ストッパー>



<注記>

- 架台の据え付け
据付面の水平を確保願います。
不連続基礎や鉄骨への設置では支持面積を極力
広くしてください。
- アンカーボルトは含まれておりません。
先様にてご用意ください。
- 防振材の初期配置は理論上のものです。
状況に応じてレベル調整をお願い致します。
レベル調整は防振材の移動で行います。
- ストッパーの調整
機器設置後に左図 (A) (B) 共に1~2mm程度
隙間を開けてください。
- 品質改善のため製品の仕様は予告無く変更する
場合があります。